

会員数(53年12月現在)

逗子地区 123名

兼山地区 213名

大船地区 70名

合計 406名

吟道月報

日本詩吟学院 毎夙会認可
神奈川碩心会 発行

53・12月

才77号

発行

根岸晃岳
編集
中村愛風
秋元梁風

私の好きな交詩

一色A支部

鈴木

木

孝

風

斯身飢ゆれば斯兒育たず……雲
井龍雄が藩命により江戸に遊学す
る為に断腸の思いで子供を捨てな
くではならなくなり命あらばこ
の親心を知れよ、どうぞ良い人に
救ってほしいと無情の悲しみを切
々と綴った棄兒行の詩は実に悲し
い詩であります。

現代の世相でも子供を捨てたり
又子供を道連れにしたりの記事々
ニュースを度々見ますが、その親
の心は痛切に感じさせられます。

私もこの詩を吟ずる度に父の事
が思い出され、父は三人の子
供を残して妻に先立たれ、私が二
才の頃でしたので夜毎母を慕って
泣く私をおんぶしては男泣きを

たそつです、その頃の心遣を思い出
してか、よく座布団を抱いては斯身
飢ゆればと口ずさんでいたのを見た
ものです。

好きな交詩はまだあります、その中
の一つに漫吟があります。この詩は
幾度か心の慰めになり自分に言い聞
かした事もあります。

嬉しいにつけ、悲しいにつけ、詩
を吟ずれば心の糧となり倅々を感じ
ます。

私も何年たっても一向に上達しま
せぬが初心を忘れずに積重ねてゆき
たいと思います。

(格言)

気が長く心を丸く腹です。己小き人を大きく
人

堀内支部納会便り

十二月十七日(日)午後七時より堀内会館に於てA B C D E教室合同のもとに行われました。大世帯の堀内支部はこのところ々々もする。前のような発刺さがかけているように思えたが、この日は定刻にはほとんどの人が出席。堀内教場夢もラ一度と願う気持ちに通じたかのよう。

堀内支部としては初吟会は一年の計は元旦にありの気持ちで嚴肅に納会は思い切り楽しくの趣旨のもとに、型通りの挨拶などはごく簡単はすませ、各教室毎の合吟、招待の加藤、三井両先生の吟を拝聴、乾盃のち余興の部に入りました。

手ぎわよい司会に余興も次から次へとくり広げられ非常に楽しいひとときを過ごすことができました。演芸そのものもこらずにさりとして素気無くなく、和気あいあいの下に行われ十時までの時間がとても短かく感じられました。

を切りあげも程よく後味よく結果的にみて成功だったと思います。

支部長はじめ、役員の方々のお骨折りと心配りに心から感謝すると同時に拍手を送りたいと思います。

五十四年度

春季査定のお知らせ

十二月三十一日(日)迄なごさ会館に於て五十四年度春季査定資格審査会が行われ、次のように決まりました。

とき。三月十一日(日)午前十時より、

ところ。図書館ホール三階

課題。五十三年度秋季査定と同じ。

(吟道月報536月号に記載されています)

査定料の改正について

従来三百円が四百円になります。

▼吟道誌購入について

総務部発行の吟道誌購入御希望の方は、
 務部で一括注文いたしますので左記に申込
 んで下さい。(一部八十円)
。未込元
 教務部小峯校在

TEL: 0468-175-2714

▼指道者講習会自会の会費について

五十四年十月より指道者は原則として請
 習を受けるものとし、出席者の有無にかかわ
 らず会費月額五百円を教務部長小峯校在方へ
 納入する事に決まりました。

▼入・退会の届け出について

会員の入・退会届は都合上広報部で受け
 取る事になりましたので、お知らせします。
 連絡先。広報部、中村愛風

住所。兼山町堀内四九〇(〒四〇一〇一)

TEL: 0468-175-1550

(註)新入会には生年月日を退会には通し番
 号を記入して下さい。

番簿訂正補足

47 佐久間沖之助 (電) 0468-175-0330 は店用

156 佐久間貞子 (電) 0468-175-0322 が自宅用

258 行谷 正一 (雅号)の正一を正泉に

277 宮寺 米三 (電) 0468-175-2846 を八二一〇に

336 福田 囃夫 (電) 0468-175-0301 を0330に

368 上村 進 (電) 0468-175-6155

◆新入

(建設支部) 小山内竹一 逗子市桜山六三三六三七
 (電) 0468-175-3674

(大船支部) 川合 七重 鎌倉市山崎一〇三四
 (電) 0467-461567

(大船支部) 石井 峯山 鎌倉市大船二六二二
 (電) 0467-431129

(堀内B) 新谷 節子 兼山町堀内七九九
 (電) 0468-175-1032

(堀内) 角田 正子 兼山町堀内
 (電) 0468-175-5768

(堀内) 佐藤恵美子 兼山町堀内一四二三
 (電) 0468-175-4914

(退会)

- 72 (逗子 A) 八木好風
- 79 (一色 C) 西野椋山
- 83 (大船 A) 中原蒼山
- 249 (菴の坂) 岩沢哲泉
- 251 (松和) 水池幹泉
- 297 () 岸本白泉
- 341 (大船 B) 加藤ハル
- 356 (松和) 畔高照子
- 365 (銀詠) 田中正二
- 373 () 内島たけみ
- 388 (堀内 B) 西山かほる
- 396 () 佐々木さかえ

(前月号の記事の訂正)

前月号のわが葉山の記事で、踐祥の文字が三ヶ所ありますが、踐祥が正しいので訂正
 照應皇太后御歌里の神楽は里神楽に

編集後記

中村愛風

白い小さな八ツ手の花が冬の日ざれにホロホロとこぼれてい

各教場の納会もそれぞれの趣好をこつして無事にすんだようで、これで頑心会の今年が行事もとどこおりなく終った事になります。

今年五月号より広報部をお引受けして、あらためて吟道月報をめぐってみましたが、最初にお願ひしたように皆様の月報ですのどレどレ記事をお寄せいただきますます非常にバラエティーにとんだ目新しいものになるし、何よりも広報部としては非常に助かるのです。文章がうまいから等とおだてられて、何とか紙面の穴を埋めてきました。が、それではいけないと思います。何なりとお寄せ下さるようお願いいたします。

今年も残り少なくなりましたがどうぞ健康にはくれぐれもお気をつけ下さいまして新しい年をお迎え下さいますよう、
 葉がくれに 柚子ひそかなる 香を流す